

海外サマーコース参加者留学生 報告書		※ 帰国後 15 日以内に提出してください。 ※ 提出された情報は、海外留学HPに掲載します。(色のついた部分は掲載しません)
留学先大学名	中国人民大学 (国名:中国)	
参加プログラム名	2011 International Summer School	
プログラム期間	2011 年 7 月 ~ 2011 年 7 月末	
学部/学府・年次	経済学部 経済経営学科	2年次
参加に要した費用	協定に基づく授業料免除の有無 → 有 「有」の場合、免除額を記入してください(授業料 5000RMB)	
	航空運賃はいくらかかりましたか? (65,355 円)	
	その他相手先大学に納入した費用を具体的に記入してください(例:教材費、宿舎費、オプションの見学旅行など) 宿舎費 1080RMB 教材費 45RMB 見学旅行 180RMB	
このプログラムを選んだ理由	中国に興味があり、長期留学のための準備としても1ヵ月という期間は適当だと思いました。また、授業はほとんど英語が用いられたため、中国語に自信がなくても授業についていけると思いました。授業料が免除だったのも理由のひとつです。	
進路の予定	1. 就職 (時期: 4月から / ()月から) 2. 大学院進学 3. その他(具体的に: 未定)	
1. 参加プログラムと大学について		

<p>プログラム(カリキュラム等)の概要について</p>	<p>様々な種類のコースが設けられており、その中から自分で好きなコースを3つまで選ぶという形でした。すべての授業は一応英語で行われることになっていました。コースを大きく二つに分けると、人民大学の学生と一緒に参加する授業と、留学生向けの授業とがあり、前者はさらに専門科目を学習する授業と、中国について学習する授業とに分けられました。人民大学の学生と一緒に参加する授業は1コマ3時間30分の授業で、その他の授業は1コマ90分授業でした。選ぶ授業によっては毎日授業があり2週間で終了する授業や、週2回で4週間ある授業など、自分に合う授業を選ぶことができました。</p> <p>また週末には留学生向けの観光プログラムがあり、頤和園や故宮、アクロバティックシアター、万里の長城を見て回ることができました。ただしガイドはついていなかったため、現地に着いたら自由観光でした。</p>
<p>主催大学のサポート体制について (語学面/勉学面/精神面/住居・生活面など)</p>	<p>各学生に一人ずつ人民大学のボランティア学生がついてくれるはずでしたが、私のパートナーはメールのみで実際に会うことはできませんでした。けれどどのパートナーも英語が堪能で困ったことがあればすぐに相談することができました。</p> <p>また、太極拳、中国語の先生は英語が話せなかったのでアシスタントの学生が英語で通訳をしてくれました。こちらも分からないことがあればアシスタントの学生さんを通していつでも質問することができました。</p>
<p>プログラムおよび大学に対する感想</p>	<p>私は最初、英語で行われる中国の発展についての授業と、太極拳、中国語の授業を選択しました。中国の発展についての授業は、授業中の英語にはなんとかついていけたのですが、文献を読んで自分の考えをまとめるという課題が私には難しすぎたため、途中で DROP しました。この授業は人民大学の学生と一緒に参加する授業だったのですが、人民大学の学生の英語力は素晴らしく、自分はまだまだだなと痛感しました。逆に、留学生対象の太極拳、中国語の授業はクラスに積極的に参加しながら学習を進めることができました。中国の文化を体感したり、生の中国語に触れたりする機会は日本ではなかなかないので、貴重な体験ができてよかったです。中国のことをもっと知りたいという気持ちがさらに強くなりました。また、このプログラムに参加しているいろいろな国の人と交流できたことも大切な経験になりました。</p> <p>人民大学の学生はみなとても親切で聡明でした。また、みな志が高く、将来の夢に向けて一生懸命勉強していて、彼らと話すのはとても良い刺激になりました。</p>

<p>同じプログラムを希望する人たちへのアドバイス</p>	<p>授業中は恥ずかしがらずに自分の意見をどんどん言っていくべきだと思います。英語であれ、中国語であれ、授業に積極的に参加することは語学力の向上に大きく貢献すると思います。</p> <p>また、同じ授業に参加している他国の学生とどんどん積極的に交流してください。語学力、コミュニケーション力の向上だけでなく、かけがえのない思い出になります。</p>
<p>2. 事前手続き(ビザ申請などが必要であった場合)</p>	
<p>ビザの種類</p>	<p>Fvisa</p>
<p>ビザ申請先</p>	<p>中国総領事館</p>
<p>必要書類、手続き方法</p>	<p>入学許可証、パスポート、証明写真 総領事館に行き、ビザ発行書類に記入</p>
<p>手続きに要した時間</p>	<p>ビザ取得にかかった時間は3日間</p>
<p>その他必要な事前手続きがあれば記入してください</p>	
<p>3. 日常生活</p>	
<p>日常生活の概要、感想</p>	<p>一番大変だったのは食事でした。中国人向けの味付けがなかなか私には合わずに苦労しました。また、中国独特のにおいにも慣れませんでした。特に下水のにおいがひどく、トイレだけではなく建物の外でもそのにおいに耐えるのに必死でした。道が汚かったり、物乞いや違法物販業者がいたり、日本とは違うことばかりで驚かされましたが、その点は1ヵ月でだいぶ慣れることができました。</p> <p>良かった点は、人民大学はとても交通の便がよく、大学を出てすぐバス停と地下鉄の駅があるので移動はとても便利でした。また海淀区は近代的建物も多く、デパートの中などは日本と同じくらいの綺麗さだったので安心できました。食べ物の物価がとても安く、学食などであれば1食5～6円で食事ができました。毎日外出したり、観光したりしなければ生活費はもっと安くても平気だと思います。</p>
<p>生活費(全期間)及びおおよその内訳</p>	<p>5.5万円 寮費…1万円 食費…1万円 交通費…0.5万円 観光費…1.5万円 お土産代…1.5万円</p>

